

【現行計画】

I はじめに（趣旨、計画期間等）

- 1 趣旨 2 計画の性格・位置付け
- 3 計画期間 令和3年度から令和7年度までの5年間 ※中間年で必ず見直し
- 4 策定体制 5 計画の推進と管理

II 前計画の評価と残された課題（略）

III 社会情勢の変化と時代の潮流

本格的な人口減少時代の到来
農畜水産物をめぐるマーケット環境の変化
持続可能な社会実現への貢献
頻発化・激甚化する自然災害への対応

経済のグローバル化の一層の進展
「食料・農業・農村基本計画」の見直し
家畜疾病対策の重要性の高まり

IV 本県農業・農村を取り巻く現状

本県人口の動向 農業生産の担い手 農業生産額 食料自給率
農畜水産物の流通・販売 農村の持つ機能と資源 農地の状況 鳥獣被害の状況

V 計画の目指すべき将来像、基本方針

- 背景、目指すべき将来像
- 基本理念と4つの基本方針

「清流の国ぎふ」の未来を支える農業・農村づくり
～安全・安心で魅力あふれる「食」と「ふるさと」を目指して～

- ①ぎふ農業・農村を支える人材育成
- ②安心で身近な「ぎふの食」づくり
- ③ぎふ農畜水産物のブランド展開
- ④地域資源を活かした農村づくり

[重要テーマ]
中山間地域
を守り育てる対策

VI 将来像達成に向けた取組み

- 基本方針ごとの重点施策【41の目標指標】

- ①ぎふ農業・農村を支える人材育成
→担い手の経営発展への支援強化など4つの重点施策 【6指標】
- ②安心で身近な「ぎふの食」づくり
→地産地消県民運動の展開など6つの重点施策 【12指標】
- ③ぎふ農畜水産物のブランド展開
→輸出拡大の強化など7つの重点施策 【12指標】
- ④地域資源を活かした農村づくり
→災害に強い農村づくりなど4つの重点施策 【11指標】

- 中山間地域を守り育てる対策【11の目標指標】

【見直し事項】

当初、令和5年度末を予定していたが、計画策定後、大きな情勢の変化があったことから、1年前倒して計画を見直し

■見直しにあたって検討すべき事項

<社会情勢の変化等（計画策定後）>

- 「みどりの食料システム戦略」を踏まえた対応
※環境と調和した持続可能な農畜水産業の取組み強化
※みどりの食料システム法（R4.7施行）に基づき、R4年度末までに、都道府県が主導して、市町村と連名の計画を作成予定（国資料による）
- 国際情勢（物価高騰等）、アフターコロナを踏まえた対応
※国「農林水産業・地域の活力創造プラン」に「食料安全保障」を柱に位置づけ
※県「DX推進計画（R4.3策定）」の施策の反映
- その他、農福連携（都道府県ネットワーク）、フードバンク活動の推進等

<生産者、関係団体及び市町村等からの意見・提案>

- 「アフターコロナへの対応」や「持続可能な農業への対応」等をテーマに意見・提案を聴取（R4.4～5月に実施、意見等総数：481件）

<計画1年目の実施状況>

- 情勢の変化等への対応が必要な取組みや目標指標の点検結果

基本理念、4つの基本方針、重要テーマは、基本的に修正しない。

■見直し内容等（範囲）

- 4つの基本方針の内の、重点施策（項目）の追加、修正 ※議決対象
→「みどりの食料システム戦略」を踏まえた対応 関係の項目追加
→物価高騰等を踏まえた食料の安定供給等 関係の項目追加 等
- 重点施策内の主な取組みの追加、修正
→「DX推進計画」の施策追加、「農福連携」の取組み内容の充実 等
- 重点施策内の目標指標の追加、修正 ※主要指標等は議決対象
→重点施策（項目）追加に伴う新規指標の設定（みどり戦略関係 等） 等